

全木連時報

1月4日(月曜日)

(第667号)

平成28年(2016年)

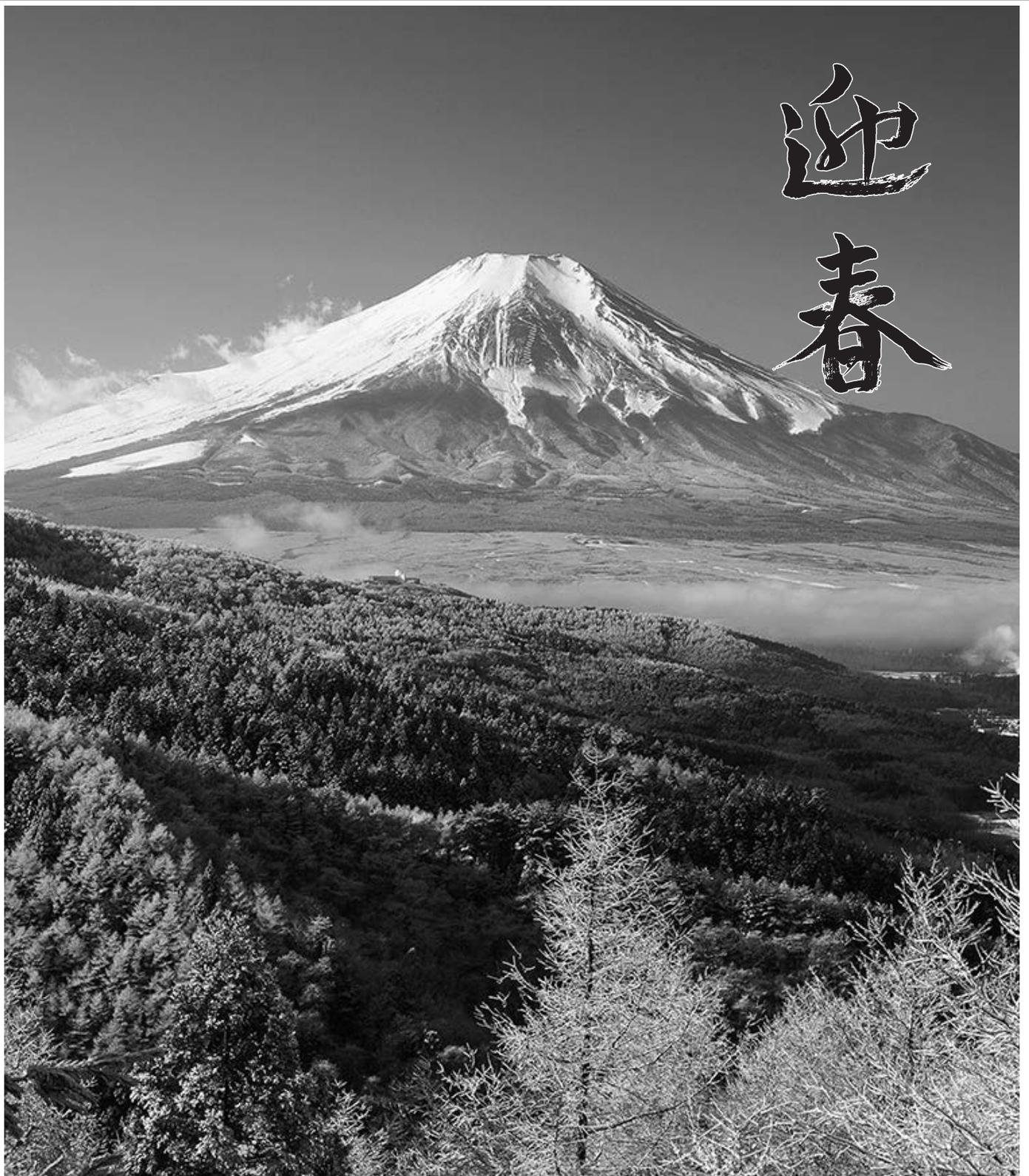
発行所

一般社団法人 全国木材組合連合会

東京都千代田区永田町2-4-3 ☎03(3580)3215
URL <http://www.zenmoku.jp>



木材産業シンボルマーク



新年ご挨拶

一般社団法人全国木材組合連合会

会長 吉条 良明



新年おめでとうございます。皆様方には日頃より本会の運営に格別のご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、木材産業をめぐる状況については相変わらず厳しい状況であり、国産材自給率が久しぶりに3割を超えたといい、明るい話題も聞えるようになってきました。

しかしながら、自給率は高まっているものの、需要量の伸びは率に比較して低迷しており、少子高齢化等の影響から住宅向けの木材需要の増加が期待しにくいと考えられる中、今後の見通しについては引き続き厳しいものがあると考えています。

こうした状況の下、我々木材産業界は、改めて広く森林・林業関係者、経済界・消費者等幅広い皆様に働きかけて、中・長期的な木材需要拡大対策に取り組んでいくことが必要となると考えています。地球温暖化防止とともに地方創生が政策課題としてクローズアップされてきている現在、我が国における数少ない自給可能な資源の一つであり、二酸化炭素を固定し製造・加工におけるエネルギー消費が少なく、環境に優しく、地方経済の活性化に大きな役割を果たす森林資源の活用は、我々木材産業界だけでなく、国を挙げて取り組むべき課題となると考えています。国による木材利用拡大に対する積極的な施策の実施により木材利用に對する国民の皆様の理解は確実に深まっており、CLTや耐火部材など都市部等での住宅以外の分野での木材利用を進めるための技術開発も着実に進んできており、木材需要拡大に向けての抜本的対策を構築していくための条件は整ってきていると感じています。我々全木連は、「木材需要の拡大

なくして日本の森林・林業の活性化は成しえない」という認識の下、全国森林組合連合会と連携をし、木材利用拡大への理解を得るためのウッドファースト社会の構築に向けた運動に一昨年来取り組んできたところですが、日本の社会のため、地球環境の保全のため、皆でもっと日本の木材を使っていこうという流れは、林業界のみならず、多くの分野の皆様にも確実に広がりを見せていると思います。今後、このような動きを国のみならず地方レベルにおいても広げ、大きな国民運動としていくことが、木材利用拡大を通じて日本の森林・山村の活性化を実現していくために重要だと考えています。

林業関係団体では、昨春秋、日本林業協会、全国森林組合連合会、日本林業経営者協会と我々全木連が、「日本の森林・山村の再生に向けた共同行動宣言」を行い、森林・林業・木材産業界関係者が一致団結し、木材需要拡大の具体化に向けて先頭に立って取り組んでいくことを明らかにしたところです。

昨年暮れのCOP21では、地球温暖化防止対策の重要性・緊急性が改めて世界中の人々に印象付けられたところであり、また、国内での経済対策等において地方創生への関心がますます高まってきています。こうした状況において、森林・林業及び木材産業界の活性化・復活への期待は、産業界をはじめ各層から今後さらに高まっていくと考えています。今こそ、日本の戦後社会において長く続いてきた非木質化の流れを変え、木材の時代を作る大きなチャンスがめぐってきていると感じています。

全木連としては、関係者の皆さんとの連携を図りつつ、木材需要拡大対策に取り組む、本年を森林・林業・木材産業界飛躍の年としていけるよう努めていく考えであり、お願い申し上げます。

最後になりますが、本年が皆様方並びに木材産業界にとって、希望に満ちた年となりますことをご祈念申し上げます。新年の御挨拶といたします。

第7回新たな「木材利用」事例発表会

日時：平成28年2月18日(木)13時00分～17時00分
場所：木材会館7階ホール（江東区新木場）
主催：（一社）全国木材組合連合会、木材利用推進中央協議会
事例発表：第一部 快適な木材利用、コストも安い公共木造効果の見える化
講師 杉戸町役場建築課主査渡辺景己氏ほか
第二部 「木材を使った街づくり」事例とその評価
講師 静岡県木材協同組合専務理事又平義和氏ほか

企業経営に安心を提供します 全木連グループの各種保障制度

おかげさまで40年
中型グループ

などの備えに ケガ・病氣入院	従業員のために 中型グループ	総合賠償補償制度	第三者への事故対策に
	経営者のために 総合保障プラン	任意労災保障制度	労働災害への対策に
		木退共	従業員の退職金の準備に

全国木材協同組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3
TEL 03-3580-3215(代)

全国木材協同組合連合会

会長 坂東正一郎



新年おめでとうございます。輝かしい新年の年頭に当たり一言ごあいさつ申し上げます。皆様方には本会の業務運営にご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年は、我々木材業界におきましても、長期にわたった消費税引き上げ後の需要の落ち込みから、住宅着工が前年同月比7ヶ月連続増加となるなど、多少明るい話題もありましたが、将来的には少子化に伴う住宅需要の減少に対応して、住宅以外の需要をどのように開拓していくかが大きな課題となっております。

一方で、消費者の方々や建築、設計関係者など我々と消費者をつなぐ方々の木材利用への関心の高まりと共に、品質の確かな木材製品の安定供給など我々木材業界への要求も今まで以上に強くなっているのは間違いありません。木材

利用の拡大を進めていく大きなチャンスを見逃さないためにも、木材業界として今まで以上の努力を行っていくことが必要と考えます。

昨年10月に三重で開催した全国木材産業振興大会では、森林・林業・木材産業関係者が一体となった木材利用拡大運動への取り組み、JAS製品等品質・性能の確かな木材の供給、東京オリンピック・パラリンピック関連施設での木材利用の促進などについて大会宣言決議とともに、新たな4団体による「日本の森林・山村の再生に向けた共同行動宣言」の報告がなされました。

木材利用に対する追い風が強くなってくる中、当会でも、関係者が一体となった木材利用拡大運動等に取り組むと共に、地域材利用促進のための利子助成やリースに対する支援、共同事業・共済事業を推進してまいります。本年におきましても、これらを通じ供給体制の整備などに取り組んでいくこととしておりますので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

最後になりますが、本年が木材産業界並びに皆様方にとって、明るい一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

全木連 全木協連

理事会・臨時総会開く

全木連・全木協連は、十一月二日十四日木材会館（東京新木場）で、それぞれの理事会・臨時総会を開き、役員を選任（補充）、平成二十七年補正予算など所定の議案をすべて承認・決定したほか、最近の情勢などを報告した。

また、木退共は理事会を開き、平成二十七年の業務執行状況を報告・承認した。



全木連理事会・臨時総会

全木連の会議は、午後1時から開始。
吉条会長の挨拶の後、吉条会長

を議長として議事が進められた。まず、各会団の役員異動に伴う役員を選出（補充）について、次のとおり決定した。

（敬称略、カッコ内は前任者・所属）

▼理事Ⅱ網 幸太（菊地成一・秋田）、阿部 昭（沖田純夫・山形）、生井邦彦（打越芳男・茨城）、天野公夫（戸栗 敏・山梨）、渡邊和彦（多田博義・新潟）、内山 弘（片岡博昌・静岡）、菅野康則（山根恒弘・広島）、小川康夫（北岡 浩・高知）、鶴田 修（増山忠男・長崎）、原田実生（櫻井秀弥・プレカット）

また、業務の執行状況については、①公益目的事業について②木材産業の振興③政策要望等について④団体活動について⑤補助事業の実施についての報告を行い、会議を終了した。

取組みについて⑥木材利用普及の取組みについて⑦林材業ゼロ災推進状況について⑧環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉の動向⑨JAPICの「国産材マーケット」への対応について⑩林野庁幹部との意見交換概要⑪第五十回全国木材産業振興大会について（結果概要）⑫第五十一回全国木材産業振興大会の開催について⑬平成二十八年全国会議の日程案について報告した。

全木協連理事会・臨時総会

全木協連の会議は、全木連臨時総会等に引き続き開催し、坂東会長の挨拶後、坂東会長を議長として、議事が進められた。

総会事項として、各会団の役員異動に伴う役員を選出（補充）について、次のとおり決定した。

（敬称略、カッコ内は所属及び前任者・所属）

▼理事Ⅱ網 幸太（菊地成一・秋田）、阿部 昭（沖田純夫・山形）、生井邦彦（打越芳男・茨城）、渡邊和彦（多田博義・新潟）、内山 弘（片岡博昌・静岡）、中村暢秀（花尻忠夫・大阪）、菅野康則（山根恒弘・広島）、小川康夫（北岡 浩・高知）、鶴田 修（増山忠男・長崎）

また、平成二十七年補正予算案を事務局説明のとおり承認決定した。

景況調査

27年11月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数143 回答数98 回収率69%

当月の状況

販売量	増加33% (32)	変わらず51% (50)	減少16% (16)
仕入量	増加30% (29)	変わらず45% (44)	減少25% (24)
販売価格	上昇9% (9)	変わらず87% (85)	下降4% (4)
仕入価格	上昇12% (12)	変わらず82% (80)	下降5% (5)

来月の見通し

販売量	増加24% (24)	変わらず51% (50)	減少24% (24)
仕入量	増加25% (24)	変わらず53% (51)	減少23% (22)
販売価格	上昇5% (5)	変わらず92% (90)	下降3% (3)
仕入価格	上昇8% (8)	変わらず89% (85)	下降3% (3)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	10% (8)	88% (74)	2% (2)
南洋材	24% (19)	71% (55)	5% (4)
北洋材(欧州材を含む)	22% (18)	72% (59)	6% (5)
国産材	11% (10)	82% (75)	6% (6)
建材	13% (10)	82% (64)	5% (4)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	47% (36)	49% (37)	4% (3)

〔製造部門〕

モニター数142 回答数89 回収率63%

当月の状況

販売量	増加30% (27)	変わらず51% (45)	減少19% (17)
仕入量	増加30% (27)	変わらず55% (49)	減少15% (13)
販売価格	上昇6% (5)	変わらず89% (78)	下降6% (5)
仕入価格	上昇20% (18)	変わらず75% (67)	下降4% (4)

来月の見通し

販売量	増加25% (22)	変わらず56% (50)	減少19% (17)
仕入量	増加25% (22)	変わらず55% (49)	減少20% (18)
販売価格	上昇7% (6)	変わらず86% (76)	下降7% (6)
仕入価格	上昇12% (11)	変わらず81% (72)	下降7% (6)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	19% (7)	81% (29)	0% (0)
南洋材	18% (6)	79% (26)	3% (1)
北洋材(欧州材を含む)	12% (4)	88% (30)	0% (0)
国産材	27% (21)	56% (43)	17% (13)

プレカットの動向

発注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内	1ヵ月	1ヵ月以上
	50% (12)	33% (8)	17% (4)

理事会事項として、平成二十七年中間事業報告、役員を選任(補充)について、副会長に豊田肇彦(岩手)(旧沖田純夫(山形))を決定、賛助会員の入会承認(滋賀県木材協会、(-)佐賀県木材協会、(-)沖縄県木材協会)、中型グループ共济保険の加入促進について承認決定して終了した。

その後事務局より、①平成二十七年全木協連に係る木材関係補助事業等の進捗状況について②第五十回全国木材産業振興大会について(結果概要)③第五十一回全国木材産業振興大会の開催について④平成二十八年全国会議等の日程案について報告した。

木退共理事会

木退共は、理事会を開催し、平成二十七年の業務執行状況について報告、承認した。



平成27年12月10日から12日に東京ビッグサイトで開催されたエコプロダクツに木の遊び場等を展示、多くの子供たちが木とふれあった。



全木連ブースは多くの来場者で大盛況

エコプロダクツで木材PR

林業・木材産業の発展を支えます!

昭和38年創立以来、林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行っています。

(対象業種)

造林・育林
木材・木製品製造
林業種苗生産

素材生産
薪炭生産
きのこ生産

木材卸売



平成26年10月1日より、新たにシステム販売など協定等を締結して木材の安定供給に取り組んでいる方を対象に「木材安定供給保証(ウッド・サポート5000)」を開始しました。詳しくは信用基金までお問合せください。

独立行政法人 農林漁業信用基金

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号(コープビル11階)
TEL: 03(3294)5585~5586 FAX: 03(3294)5595 URL: http://www.jaffic.go.jp